



のむらゆうと  
**野村悠斗** ちゃん  
令和2年9月1日  
一色町



たにざわこうだい  
**谷澤昊醒** ちゃん  
令和2年9月2日  
池田町



いずもとはる  
**伊豆元葉遥** ちゃん  
令和2年9月8日  
泉田町



やまもと かすみ  
**山本佳澄** ちゃん  
令和2年9月14日  
中手町

## あつまれ かりやっ子

応募はこちらから  
簡単にできます！



▲申込フォーム



いとうゆうと  
**伊藤優斗** ちゃん  
令和2年9月18日  
一ツ木町



わたなべひとは  
**渡邊仁葉** ちゃん  
令和2年9月19日  
東境町



さきばら きこ  
**神原希心** ちゃん  
令和2年9月24日  
東刈谷町



すずきしゅうや  
**鈴木秀弥** ちゃん  
令和2年9月28日  
今川町

## 全国2位相当の文部科学大臣賞受賞！富士松中学校科学部



富士松中学校 科学部 TPC 班

### 若き科学者たちの功績

全国の中学生と高校生の科学研究を対象とした第65回日本学生科学賞の中央審査で、富士松中学校科学部TPC班が見事、全国2位相当の文部科学大臣賞に輝きました。

### 題材は日常の中に

日々の生活の中で研究テーマを探す

部員たち。ある日、部員の1人がトイレトペーパーの芯を交換する際、芯が床に落ち、偶然直立するのを見ました。「これはおもしろい」と思い、「落とした芯をどうしたら確実に直立できるか？」をテーマに、科学部内でTPC（トイレトペーパー・コア）班を結成し、研究をスタート。

角度や高さを何度も変えて、試した回数は約25,000回。100回試して得た結果が、条件の不一致でやり直しとなり、苦い思いをした部員もいました。それでも部員たちは粘り強く成功事例を集め、高確率で立ち上がる条件を導き出しました。部員たちは研究を振り返り、「条件を同じにして何度も繰り返すのは、手が痛くて大変でした」と笑顔で苦労を話します。

### 先輩の背中を追う後輩たち

「こんなに大きな賞を中学最後にもらうことができ、本当にうれしい。続けてきてよかった」と喜ぶ3年生。1・2年生は「とてもうれしいが、3年連続受賞で今後プレッシャーもある。来年は自分たちが研究の中心になってがんばりたい」と目を輝かせ、次の目標を話します。未来の科学者たちが、今後どのような活躍をしていくのか注目です。

